

岐阜県福祉サービス第三者評価事業評価結果表

令和3年4月1日改正
(令和3年4月1日適用)

①第三者評価機関名

特定非営利活動法人 岐阜後見センター

②施設・事業所情報

名称：瑞浪市立みどり幼稚園	種別：保育所（幼保一体型）
代表者氏名：岩 下 みゆき	定員（利用人数）： 180 名
所在地：岐阜県瑞浪市下沖町2丁目10番地	
TEL：0572-68-2632	ホームページ： http://www.city.mizunami.lg.jp
【施設・事業所の概要】	
開設年月日 昭和 29 年 4 月	
経営法人・設置主体（法人名等）：瑞浪市	
職員数	常勤職員： 11 名（育休中 1 名） 非常勤職員 26 名
専門職員	（専門職の名称） 名
	保育士 11 名（12名） 保育士 22 名
	子育て支援員 1 名
	学生アルバイト(保育) 1 名
	事務員 1 名
	用務員 1 名
施設・設備 の概要	（居室数）
	（設備等）
未満児保育室 2 以上児保育室 8	
遊戯室 1 職員室 1 調理室 1 絵本の部屋 1	

③理念・基本方針（※転載）

《教育保育理念》

- ① 保育を必要とする子どもの保育を行い、その健全な心身の発達を図ります。
- ② 子どもの最善の利益を考慮し、その福祉を積極的に増進します。
- ③ 子どもの健やかな成長のために、適切な環境を与えその心身の発達を助長します。

《教育保育方針》

- ① 「仲間の中でいきいきと自分らしさを発揮し、支え合いながら自立する子」を育成します。
- ② 発達を捉え、子どもの意欲を引き出す環境構成を工夫します。
- ③ 専門職としての資質向上のための研修の充実を図ります。

④ 施設・事業所の特徴的な取組（※評価機関において記入）

- ・ 広い園庭の中心にそびえる大きなけやきの木があり、夏は涼しい木陰になり、秋に落ち葉がシャワーのように舞う下で、子どもたちが自ら遊びたいと心を動かして主体的に遊ぶ事ができるように整えた環境を整備している。
- ・ 近隣には、公園や神社、小川、小学校などがあり、園外散歩で虫や生き物を探したり、どんぐりを拾いあそびに取り入れている。散歩しながら体力づくりや自然に触れ原体験ができるようにしている。就学する小学校へ出かけ、親しみや期待が持てるようにしている。
- ・ 市の中心部にあり、一番大きな園なので、大規模園の特徴を生かし、学年や異年齢の交流を通してダイナミックに遊び、優しさや思いやり、憧れの気持ちを持ち、お互いを認め合いながら成長できるように保育を行っている。
- ・ 子育て支援センターを併設しているので、未就園児や地域の方との触れ合いを通して、温かいかわりの中で成長できるように保育を行っている。

⑤ 第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和5年6月15日（契約日） ～ 令和6年3月15日（評価結果確定日）
受審回数(前回の受審時期)	1 回（28年度）

⑥ 総評

◇特に評価の高い点

＜子どもたちの主体性を尊重した保育が実践されている。＞

こども一人ひとりの個性を尊重し、主体的に行動できるような保育環境づくりに取り組んでいる。「遊び」に集中できるよう安心。安全な保育環境の中で、子どもの内面的な力の引き出すための保育を行っている。また、園内研修会、カリキュラム研、クラス研修会等を通して、子どもの共通理解を深めるとともに、その上で一人ひとりに合った援助対応を話し合い、子どもの心に寄り添う保育に取り組んでいる。

＜保育教育環境に恵まれている。＞

公園、神社が近くにあり、広い園庭に大きなシンボルツリーが四季折々の様子を子どもたちに見せてくれている。未満児の子たちの出る園庭と以上児の遊ぶエリアは区切りがしてあり、大きい子の遊ぶ姿や声を聞きながら遊ぶことができている。また、未満児室が職員室に隣接する配置であり、個別対応を求められる頻度の高い未満児の保育室の安全、安心にとって大きなチャームポイントとなっている。どの年齢ステージの子どもたちにとっても、幅広い年齢の子どもたちの遊ぶ姿は、多様な発達を引き出す上で良い影響となり、またとない遊びの環境を備えている。

＜食育に力を入れ、旬の食材等も献立に取り入れている。＞

0歳児から食育年間教育指導を行い、保育の中に位置づけ、援助している。また、5歳児が

トマト、ピーマン、とうもろこし等の夏の野菜作りを行い、収穫物を給食の食材として全園児で食べている。このような取り組みが子どもたちの野菜を作ること、また、味わうことへの興味や関心となり、4歳児もジャガイモを作り挑戦する等、食育の広がりを見せている。また、栄養士が旬の食材や地域の行事食を献立に取り入れ、食事を豊かなものにしている。

◇改善を求められる点

くさらなる保育の質の向上に向けた取り組みに期待したい。＞

今後とも現状に満足することなく、さらに理想を高く掲げ、評価の良かった点についても更なる改善に努めることで、今後、さらなる保育の質の向上を図り、多様化する地域の子育て支援ニーズに対応した保育サービスの提供に邁進していただくことを期待する。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

丁寧で温かな評価をしていただき、ありがとうございました。受審や自己評価を通して、日頃の保育実践について見直すよい機会となり、職員も意識を高めることができました。今後、課題の改善に向けて取り組み、子どもたちや保護者、職員のために適切な園運営と保育に努めていきます。

⑧第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。